

(別紙①) 鈴鹿産学官連携協定による取り組み一覧 (2016年度～2018年度)

- 2016年2月22日：三者協定締結、「健康寿命を伸ばそう鈴鹿市！運動と食生活そして地域の連携！」をテーマにキックオフイベントを実施
- その後今年度までの3年間で、下表の“4つのテーマ”で活動を行ってきた。

取り組みテーマ	1年目 (2016年度)	2年目 (2017年度)	3年目 (2018年度)
“テーマ1” 食生活(中鎖脂肪酸)での市民の栄養状態向上の大規模研究	503名(45-79歳) ・10食品群の摂取数が増加した： 推奨1週目 7.6種類/11種類 → 推奨4週目 7.9種類/11種類 内98名(60-79歳) ・栄養状態の向上に伴い、血液中のIGF-1等の濃度が改善	1) 日本応用老年学会での発表(日清) ・2017年10月20～21日 2) 読売新聞 未病シンポジウムでの紹介(日清) ・2017年11月13日 @パシフィコ横浜	1) 日本未病システム学会での発表(日清) ・2018年10月27日～28日 ・優秀発表として、学会誌(25巻1号)に掲載予定。 2) 読売新聞社主催「未病シンポジウム」での紹介(日清) ・2018年11月13日 @ザ・グラントホール品川
“テーマ2” 地場食材の認知向上と利用促進	1) レシピコンテスト ・2016年6～9月に実施、 ・応募総数：128点 ・2016年9月24日 本審査会；最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞3点、入賞2点を決定 2) ポリ袋料理 健康づくり講座 ・2016年7月28～29日	レシピの普及 ・2017年6～8月、「アグリロマン 鈴鹿」「鈴鹿市食生活改善推進協議会」の料理教室でレシピを紹介	1) 鈴鹿救急・健康フェアへの出展(日清) ・2018年9月16日 @鈴鹿医療科学大学 ・大規模研究の成果紹介と10食品群チェックの普及 2) 10食品群アプリの提供(日清) ・2018年11月12日アプリ公開 ・ニュースリリース発信
“テーマ3” 食生活(中鎖脂肪酸)の基礎的研究による機能性の解明	共同研究① ・研究テーマ『PEMマウスモデルにおける中鎖脂肪酸の脳内炎症抑制効果』	共同研究② 研究テーマ『低栄養下の中鎖脂肪酸の脳内炎症抑制効果の機序解明』 日本薬学会での発表(大学) ・2018年3月28日@金沢もてなしドーム	共同研究③ 研究テーマ『中鎖脂肪酸の脳内炎症抑制効果におけるIGF-1の関連性』
“テーマ4” 食生活(中鎖脂肪酸)での認知症患者の栄養状態改善検証	認知症カフェ「D-カフェ」での交流会開催 ・2017年3月26日 ・市内小規模通所介護事業所「長太の寄合所『くじら』」が月1回程度開催している認知症カフェ ・鈴鹿の地場食材とココナッツオイルを使用したカレーやスープ、デザートを食事として提供	実績なし	1) 認知症カフェ登録事業者制度への支援 ・2018年12月12日 カフェ運営事業者を対象にした勉強会を開催 ・各運営事業者から、支援要望内容を申請していただく ⇒2019年2月20日時点で3事業者より要請あり。 (あんしんカフェ、家族みまん、コミュニティカフェきらめき) 2) 介護予防・健康教室実施事業者等に対する支援 ・上記の勉強会に鈴鹿市関係部局栄養士・認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チームメンバーも参加
プレスリリース等	産学官連携協力 2016年度活動内容報告(記者発表・プレスリリース) ・2017年3月29日 @鈴鹿市役所	日本薬学会にて研究成果を発表(プレスリリース) ・2018年3月29日	日本未病システム学会誌に優秀発表として掲載(プレスリリース) ・2019年4月4日